

地域の概要



吉野は人口増加傾向で、年少人口比率が高い。土地区画整理が進んでいる区域を中心に良好な生活環境が形成されつつある一方、道路などの生活基盤が未整備地域もある。人口約5.1万人。高齢化率29.5%。

取組のきっかけ

10数年来休止していた老人クラブを平成28年に帯迫老人クラブとして復活。友愛訪問や奉仕活動を通じて、地域に貢献したり、関わりができることで、人生をより豊かなものにできると考え、友愛訪問活動の延長線上での生活支援活動を組織化した。令和7年度より東部地区の高齢者クラブで支えあい事業を広域化している。

取組の目的

- できる活動・参加しやすい活動を通じた会員本人の生きがいづくり
- 超高齢社会における地域での老人クラブ活動の役割
- 元気なうちは支える側としてできる範囲で活動することで、地域への貢献はもちろん、自分の生きがいにもなる
- 「やってよかった活動」を合言葉にして活動

これまでの経緯

| 年・月 | 出来事 |
|----------|--|
| 平成28年12月 | 老人クラブの復活（帯迫老人クラブとして始動） |
| 平成29年8月 | 定例会、臨時役員会で説明、話し合いを重ね、有志で支えあいグループを結成 |
| 平成29年9月 | 市のモデル事業に申請し、これまで友愛活動として安否確認、話し相手などを生活援助活動にあわせるボランティア活動を開始 |
| 平成31年4月 | 市の新規事業「支えあい活動補助金」を申請 |
| 令和元年7月 | 地域内の全高齢者（75歳以上の方）に活動の広報を兼ねてアンケート（ニーズ調査）実施し民生委員・児童委員協議会とも話し合いを行った |
| | 高齢者宅の屋内外の清掃、ゴミ出し、話し相手等の支援を中心に活動中 |
| 令和7年4月 | 活動を東部地区（吉野、吉野東、川上、大明丘）へ広域化し、東部地区協議会（支えあい事業）と名称を変更。活動員も16名から33名と増員した。 |

活動の概要

- ◆ **活動内容**： ゴミ出し、話し相手、清掃・掃除、庭の清掃・草取り、病院付添い、調理支援、電球交換等
 - ◆ **活動範囲**： 鹿児島市吉野、緑ヶ丘、川上、下田町
 - ◆ **利用料**： 無料（原則として無償ですが、利用者の要望により有償利用も考慮されます。料金については応相談となります。）
 - ◆ **対象者**： 東部地区内の高齢者等（友愛訪問を通じて支援が必要と思われた方）
 - ◆ **構成員**： 33名
 - ◆ **利用者数**： 実利用者数：10名、延べ利用者数123名（令和6年度実績）
- 支えあい活動補助金をはじめ、各種助成事業等を活用して、老人クラブの財源を確保しつつ、地域に関わる活動へつなげている。

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 事業の枠組み、仕組み作り
- 周知広報（HP等に事業内容掲載）
- 担い手育成
（支えあい活動従事者研修会実施）

〔SCとしての役割〕

- 活動に関する相談
- 活動状況の把握
- 支援が必要な方とのマッチング
- 補助金に関する事務手続きのサポート

現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 9年間活動することによって、地域に定着することができている

〔課題〕

- 他的高齢者クラブや様々な地縁団体にも活動が広まって欲しいこと。
- 支援を必要とする方が気兼ねなく、支援を受けられるよう、本人や家族の理解を得ることが重要。
- 支えあい活動を広く実施するために広域化（東部地区）しているが、全体的に活動が深化するには少し時間が要すると思われる。